

Q & A

問題解決!



南部大学センター
園芸課
検校 哲也

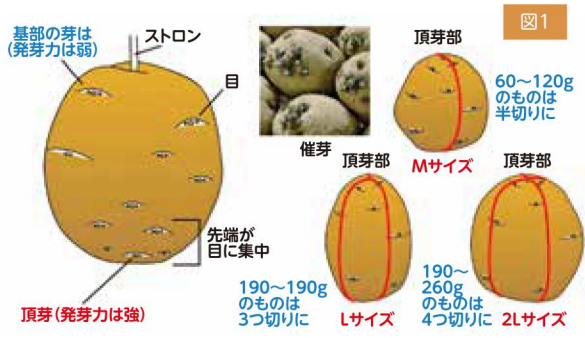
Q1 ジャガイモの種イモは、どれくらい大きさに切ればいいですか。

A1 一般的に種イモは大きいほど初期生育がよく、茎数が増え、イモ数が多くなります。50gほどあれば適当で、種イモの大きさが60g以上になるとイモの収穫量に差はありません。大きな種イモは切って植え付けます。(図1)

60〜120gの種イモは半分に、120〜190gの種イモは三つ切りに、これより大きい種イモは四つ切りにします。40〜60gの小さい種イモはそのまま植え付けましょう。

●切り分けたイモの管理
切り分けたイモは、二〜三日風通しのよい日陰で乾かすか、草木灰やジャガイモシリカを切り口につけて、植えつけ後の腐敗を防ぎます。

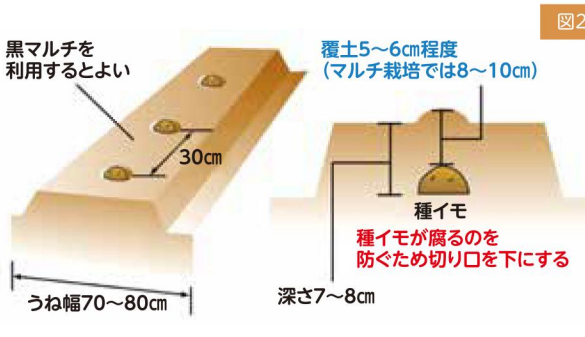
●イモの切り方
種イモは縦に切ります。地下茎(ストロン)の付いていた反対側がイモの頂部になります。頂



部の芽は強く優勢であり、目の数は頂部に多く付いています。基部(地下茎の付け根)には芽が少ないので、図のように各切片に頂部の優勢な目が必ず入るようになります。頂部から基部にかけて縦に切ります。横に切ると、弱い芽ばかりの種イモと、強い芽ばかりの種イモとに分かれてしまいます。

●植え付けのポイント
深さ7〜8cmに植え付けます。覆土は5〜6cmで、覆土後のうね

は少し盛り上がる程度にします。マルチ栽培では土寄せができないので、8〜10cmを目安に厚く覆土して高うねにします。種イモが腐るのを防ぐため、切り口を下にして植え付けてください。(図2)



●石灰はひかえめに
ジャガイモはやや酸性気味の土(pH5.5〜6)を好みます。ほとんどの畑では石灰は必要ないでしょう。石灰を多く施用すると、イモの表面にかさぶたのような病斑ができる「そうか病」にかかりやすくなるので、ひかえめにしましょう。肥料は、10㎡当たり分量で、窒素70〜100g、リン酸100〜120g、カリ90〜120gを目安にして施肥します。

Q2 実なる野菜と葉を食べる野菜は作り方に違いがあるのですか？

A2 野菜を含め植物は、温度や水、養分が十分にあると、葉や茎などを作る栄養生長を続け、子孫を残そうとします。逆に、養水分や温度などの条件が厳しいと、子孫を残そうとして、急いで花をつけ実を作り始めます。野菜を栽培する場合、栄養生長と生殖生長をうまくコントロールして収穫を目指します。

キャベツなど茎葉を収穫する野菜は、養水分をたっぷり与え適温で育てます。逆に、トマトなど果実を収穫する野菜では、生殖生長に転換するように養水分を抑制したり、高温、時によって低温管理します。野菜にとっては迷惑なことですが、食料を生産する農業技術として大切な作業です。

例えば、タマネギは花を咲かせて子孫を残しますが、食料とする場合、開花は食用には適さないこととなります。そこで、生産現場では、生殖生長に転換しないように、苗の大きさや定植時期を本来の適期から外して栽培します。ネギを9月に種まきし、小さめの苗を11月に植え付けます。こうすると、冬の寒さで花芽分化せず、春に鱗茎が肥大

します。一方、花を咲かせ果実を収穫するイチゴは、高冷地に山上げするなどして、花芽分化を促進します。大きくしたい葉物は甘やかせて育てて、実なる野菜はいじめで育てる。これがコツです。



オンライン農業塾はこちら
動画はコチラ

管内の病害虫情報ははこちら

家庭菜園情報ははこちら